

担 当 者

横 内 直 典 ・ 佐 藤 晃 暢 ・ 嶋 原 弥
小 川 兼 太 郎 ・ 五 十 嵐 昭 義 ・ 渡 辺 憲 一

主 な 参 考 文 献

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|
| ○小 泉 英 二 「登校拒否」・「続登校拒否」
学事出版 | ○内 山 喜久雄 「問題児臨床心理学」
金子書房 |
| ○小 泉 英 二 「学校教育相談」 学事出版 | ○高 野 清 純 「遊戯療法の理論と技術」
日本文化科学社 |
| ○若 林 慎一郎 「登校拒否症」 医歯薬出版 | ○内 山 喜久雄 「行動療法の理論と技術」
日本文化科学社 |
| ○佐治 守夫・他 「現代のエスプリー
登校拒否」 至文堂 | ○筒井 未春・他 「不定愁訴」 医学図書 |
| ○神 保 信 一 「学校相談心理学の展開」
金子書房 | ○金久 卓也・他 「コーネル・メデカル・
インデックス」 三京房 |
| ○安藤 公平・他 「心理検査の理論と実際」
駿河台出版社 | ○杉 田 峰 康 「交流分析と心身症」
医歯薬出版 |
| ○原 野 広太郎 「教育指導の心理」
金子書房 | ○佐々木雄二・他 「自律訓練法と心身症」
医歯薬出版 |

テーマ 登校拒否タイプ別治療方法の研究

登校拒否は、形成要因・形成過程、子供の発達段階などにより、その症状はさまざまで、ケースにより指導方針、指導段階、指導方法なども異なる。したがって、それぞれのタイプに応じたものでなければ指導（治療）効果は期待できないものである。

今回は、県北管内における小・中・高等学校の^{しっかい}悉皆調査をもとに、登校拒否の出現率の実態に考察を加え、それにもとづく県下の出現率を推測してみた。さらに、当教育センターへ来所した登校拒否のケースを過去3年にわたりタイプ別に分類を試みながら、発症タイプとして多くみられる事例をとりあげ、テスト・バッテリーの組み方や、指導方針、指導（治療）方法等を研究したものである。